

門司中学校 実践交流会 分散会 第4ブース

国語科 第2学年

単元名

「 類義語・対義語・多義語 」

授業のねらい

個別・班での話し合いを通して、語の意味や用法の違いに関心をもち、言葉の働きについて考えさせる。

ICT機器の活用場面①



- ・「机の端，縁，隅」はどの部分にあたるかイラストに印を付けさせ個別，班で考えタブレットPCに書いて提出し、デジタルTVに映し全体で確認し，類義語について理解する。
- ・「以上」の反対語は何かを考えさせ，反対の意味をもつグループは対義語であることを理解する。

ICT機器の活用場面②



- ・多義語の意味，用法の違いについて確認する。
- ・例をあげ，自分でオリジナルの対義語を作り提出BOXに送り全員で共有する。

生徒の反応

- 身近なテーマで、意欲的にグループディスカッションに参加し、タブレットPCでは様々な作業が簡単にできるので、話し合い活動が活発になった。
- 画面から次々に課題が提示されることで、関心も高まり、積極的に授業に参加出来た。
- 最後に自分で考えた言葉がテレビに映し出されることで喜ぶ姿も見られた。

成果と課題

<成果>

○タブレットPCに書いて、班の意見を送ることで、日頃人前で発言しない生徒も自分の意見を求められ、話し合いに参加していた。

○生徒が作ったシートを即時に画面に映し出して全体で比較・共有できるという点で時間の無駄がないこと、また、生徒は自分のものが映し出されるということで達成感を味わい様々な人の考えを知ることができた。